伊奈町教育委員会会議録

招集期日	令和２年　７月１５日　(午前)・午後　９時３０分	開会場所	伊奈町役場全員協議会室
開閉の日時及び宣言	令和２年　７月１５日　(午前)・午後　９時３０分	臨時又は仮議長	臨時
	令和２年　７月１５日　午前・(午後)　４時１５分	臨時又は仮議長	臨時

議長	高瀬　浩	議長代理		仮議長	

委員の応召並びに出席の状況	議席№	氏名	出欠の別	議席№	氏名	出欠の別
	1	高瀬　浩	出	4	大塚　哲章	出
	2	澤田　誠一	出	5	田井　文子	出
	3	渡辺　暁男	出			

議事参与者		教育長	高瀬　浩	学校教育課長	水落　美佳子
		教育次長	石田　勝夫	学校教育課指導主事	鈴木　冬樹
		教育総務課長	渡邊　研一	学校教育課主幹	安藤　咲恵
		書記	斉藤　のぞ美	学校教育課指導主事	新田　隆
				学校教育課指導主事	澤邉　崇
				学校教育課指導主事	矢代　直子
				学校教育課学校教育指導員	林　八州夫
				学校教育課学校教育指導員	落合　啓志

会　議　事　件　名	顛　　末
開　　会	午前９時３０分
署名委員	２番　澤田委員
議　　事	令和３年度使用小・中学校用教科用図書採択に関する審議について 議長 ・これから令和３年度使用小・中学校用教科用図書の採択に係る臨時教育委員会をはじめる。 ・まず、報告事項について事務局より報告してください。 事務局より報告 ・要望書及び請願書が各１件ずつ届いているので報告する。 ・１件目　「２０２１年度使用教科用図書の採択にあたっての要望書」である。 ５月２８日付け、埼玉教育フォーラムより届いている。 要望の趣旨は、 ⑴各学校の教職員の意見を尊重し、採択に反映させること。 ⑵展示会のあり方を改善し、保護者・住民等の意見を広く募集することである。 ⑶利害関係者の関与を排除し、公正公平な採択を行うこと。 ⑷教科書採択に関する教育委員会及び再採択地区協議会により多くの市民が傍聴できるよう、条件を整えること。 ⑸結果のみならず、採択に関する情報をすべて、速やかに開示すること。 以上、要望書の報告とする。 ・２件目　「中学校教科書採択に係る請願」である。

	７月８日付け、子どもの人権埼玉ネットより届いている。 要望事項は、 ⑴ 教員の意見・希望を尊重すること。 ⑵ 育鵬社の歴史的分野の教科書、育鵬社及び自由社の公民的分野の教科書を採択しないこと。 ⑶ 採決時を含めて会議を公開とすること。　である。 以上、請願書の報告とする。 議　長 ・では、要望書については、規定により報告のみとさせていただく。 ・請願書については、７月の定例教育委員会で、回答案について審議をする。 ・次に、協議事項に入る。 ・今後の日程及び協議の参考資料について説明をお願いする。 事務局より報告 ・本日の臨時教育委員会は、７月２１日及び２２日の第七採択地区教科用図書採択協議会に臨むにあたり、伊奈町教育委員会としての案を決定するために行うものである。この案を持って、北本市で開催される採択協議会に臨み、ここで、第七採択地区で使用する教科用図書が選定される。 ・７月２１日・２２日の採択協議会では、４市町がそれぞれの考えを示し、第七採択地区としての教科用図書選定の原案を決める。 ・７月２８日（火）の伊奈町の定例教育委員会に、この採択地区の原案を持ち帰る。すべての教育委員会が原案を承認すれば、この地区の令和３年度使用小・中学校の教科用図書が決定し、採択される。 ・本日は、このような流れの中で、「協議会で採択する前」の「伊奈町教育委員会

	案の決定」のために行う協議になる。 ・本日の進行についてであるが、令和３年度使用の中学校各教科１６種目の教科用図書についての審議を１種目ずつ行う。 ・次に、審議の参考資料として、資料１～５を事前に配付させていただいた。 ・資料１～３は、中学校教科用図書調査資料である。 ・資料４は、市町村教育委員会等が教科用図書採択をするに当たっての採択基準で県教育委員会から教科用図書採択の指針として通知されたものである。 ・資料５は、教科用図書の見本本を用意した。 議　長－今までの説明で質問はあるか。 ――質問なし ○中学校教科用図書に係る調査研究結果の説明・質疑 □調査研究結果の説明 議　長 ・それでは、中学校教科用図書の調査研究結果の説明・質疑を１種目ずつ行う。事務局から調査研究結果の説明をお願いする。 事務局 ・これより、各担当が、中学校教科用図書の調査研究の結果の説明をする。その際、資料２をもとにお話しするが、総合的に説明するので、文面と必ずしも重ならないことを了承願う。 ・本日、協議する種目の順番だが、音楽（一般）、音楽（器楽）、国語、書写、地理的分野、歴史的分野、公民的分野、地図、数学、理科、美術、保健体育、技術分野、家庭分野、外国語（英語）、道徳の順となる。

	事務局－調査結果資料に基づき、**音楽（一般）**について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－中学校現場の意見はどうか。 調査員－教芸社は、知識が幅広く、写真も大きくて見やすい。新学習指導要領を意識した新しいページもある。主体的で対話的な学習を行える。 教出は、共通教材である歌唱が前のページにまとめられており、見やすい。日本の伝統音楽についての記述が詳しく、鑑賞教材の楽譜の掲載も多い、などの指摘があった。 委　員－教芸社は、音楽の楽しさが味わえるよう配慮されている。歌唱が赤、創作が緑、鑑賞が青と色分けされており、写真も大きくて見やすい。 委　員－変声期を迎えた中学生にとって、教芸社の説明はわかりやすい。表現と鑑賞がバランスよく配置され、「学びの地図」で年間の学習内容が見通せるように示している。 委　員－歌唱教材では、曲の構成を細かく分析できるような表を使い、創意工夫を生かせるように配慮されている。 議　長－教芸社は、色彩が豊かである。音楽の魅力や広がり、期待感がふくらむつくりになっている。課題の提示により、主体的な学びが進められるようになっている。教育出版も、学習活動を大事にしていることが伺える。 委　員－教出は、表現と鑑賞がバランスよく配置され、「学びのユニット」で年間の学習内容を関連付けて示している。 委　員－教出は、鑑賞教材では、特徴を理解するための書き込み欄や対比表を使い、考えるポイントが掲載されている。 委　員－教出は、創作教材では、テーマやことばをリズムと関連付け、まとまりのある作品ができるように工夫されている。

	議　長－それでは、これまでの意見、協議をもとに順位を付けたいと思う。 議　長 ・各委員、また学校現場の意見をもとに判断すると、教育芸術社を推薦する声が多かった。 ・教育芸術社を第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・教育出版を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－教育芸術社」、「第２案－教育出版」を音楽（一般）の教科用図書採択案とする。 事務局－調査結果資料に基づき、**音楽（器楽）**について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－中学校現場の意見はどうか。 調査員－教芸社は、和楽器について多くの知識が身に付けられる。１曲ごとの楽譜が大きくて見やすい。「深めよう音楽」でキャラクターの吹き出しを使用し、わかりやすく具体的な学習ができるよう工夫されている。 教出は、アンサンブル曲のレパートリーが豊富、「学びのねらい」をスタートとし、「まとめの曲」があり、課題到達点がわかるように工夫されてある、などの指摘があった。 委　員－中学校で和楽器を実際に演奏しているのか。 調査員－各学校で指導計画を立てて、箏曲の演奏の学習を行っている。 委　員－箏の指導に当たって、見てわかりやすい教育芸術社がいい。

	委　員－教芸社は、各楽器の基礎の習得から多彩な組み合わせによるアンサンブル、技能に応じた応用まで系統的にバランスよく取り上げている。 委　員－教出は、歌唱・創作・鑑賞の各学習活動との関連にも配慮され、学校の実態を踏まえて取り扱うことができるようである。 委　員－教芸社は、「アンサンブルセミナー」では、表現を工夫できるように配慮してある。 委　員－教出は、各パートの役割を一人一人が担うようになっている。 委　員－教出は、各楽器の基礎の習得から多彩な組合せによるアンサンブル、技能に応じた応用まで 系統的にバランスよく取り上げている。 委　員－教出は、歌唱・創作・鑑賞の各学習活動との関連にも配慮している。 議　長－ＱＲコードはどちらの教科書にも付いているのか。 調査員－教芸社はＱＲコードで音が聞けるようになっている。教育出版はＣＤを使うようになっている。 委　員－教芸社は、音楽の楽しさや喜びを味わわせることにポイントを当てている。一方で、教育出版は、学習内容の方にポイントを当てている。器楽を体験するという点では教育芸術社の方がよい。 委　員－楽器の演奏指導をするうえで、図を多用している教育芸術社の方がわかりやすい。 議　長－教芸社は色彩が美しい。曲を聴くことから入り、演奏したい意欲を高め、その後、問題意識を高めながら、ステップを踏んで学習を進め、技能が身につくようになっている。 議　長－それでは、これまでの意見、協議をもとに順位を付けたいと思う。 議長 ・各委員の意見をもとに、学校の意見も考えて、 ・教育芸術社を第１案としてよろしいか。

	（承認を得る） ・教育出版を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－教育芸術社」、「第２案－教育出版」を音楽（器楽）の教科用図書採択案とする。 事務局－調査結果資料に基づき、国語について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－中学校現場の意見はどうか。 調査員－光村、東書、三省堂の順で推薦が上がってきている。 光村は、単元の合間には「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」ページがあり、学習を円滑に進められるような工夫がある。 東書は、学習者を引きつけるような写真、関連のある詩が掲載されている。 三省堂は、考えを整理したり深めたりする方法を学習活動と関連付けながら取り上げる「思考の方法」が要所に掲載されている。 委　員－学校の推薦順位にこだわらず、教育委員として教科書を調査研究した結果を踏まえ、主体性をもって決定していきたい。 委　員－東書は、各単元の始めには、学習者を引きつけるような印象的な写真とともに、関連のある詩が掲載されている。他教科との関連やデジタルコンテンツの活用が十分に意識され、活用できるものになっている。 委　員－東書は、独自のキャラクターと６人の生徒のイラストが随所に使用され、親しみやすい。単元の途中の「学びの扉」の始めには、キャラクターと生徒の漫画ページもある。 委　員－光村は、情報量が多く、多様な話し合いの方法が示されている。三省堂は

	文字量が多く、子供たちは読み込めるだろうかと不安材料もある。 委　員－光村は、「学習の見通しをもとう」や場面・目的に応じた思考法を紹介した「思考の地図」を提示している。 委　員－光村は、巻末の資料では、観点別に「読む」「話す・聞く」「書く」「情報」「読書」「伝統的な言語文化」「言葉・漢字」を紹介している。 委　員－三省堂は、巻末の資料には、漢字、語彙の他に、日本文学名作集や学習用語辞典、「思考の方法」一覧等が参考資料としてある。 委　員－三省堂は、巻頭に主体的・対話的で深い学びを実現するためのステップが５つに分けて示されている。 議　長－光村は、学習の見通しをもたせ、問題解決的な学習に主体的に取り組めるよう工夫している。国語としての活動が豊富で、終末は学習を広げる方向で終わっている。漢字学習や読書案内も充実している。 東書は、学び方を大事にしている。基礎基本の内容や読書案内も大事に扱っている。 三省堂は、「学びの道しるべ」で学習に見通しをもたせるようにしているが、十分とはいえないと感じる。 議　長－それでは、これまでの意見、協議をもとに順位を付けたいと思う。 議長 ・光村図書を第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・東京書籍を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・三省堂を第３案としてよろしいか。 （承認を得る）

	・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－光村図書」、「第２案－東京書籍」、「第３案－三省堂」を国語の教科用図書採択案とする。 事務局－調査結果資料に基づき、書写について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－中学校現場の意見はどうか。 調査員－光村、三省堂、東書の順で推薦が上がってきているが、三省堂と東書は差がない。 光村は、視覚的に訴えかける構成がよい。 三省堂は、基本的な事項がしっかりと押さえられている。 東書は、巻頭にある「書写の学習の進め方」がわかりやすい。 議　長－国語と書写で教科書が異なった場合に、学校では困るという意見はあるのか。 調査員－特に聞いていない。 委　員－順位を得点化するのも、一つの根拠となるだろう。 議　長－あくまで教育委員の意見を重視し、主体的に判断することを確認しておきたい。 議　長－東書は、学習目標に向かって問題解決的な学習が行えるような流れになっている。構成がよい。書写活用ブックは有効である。また、広い紙面が効果的である。 委　員－光村の大きいページはよい。「書写で学ぶこと」と「書写の学習の進め方」がわかりやすく解説されている。また、「書写ブック」が別冊となり、練習量が確保されている。 委　員－三省堂は、面接シートがある。原稿用紙の使い方の指導では青線が使われ

	ているのが他社と違う。 委　員－光村は、手紙、葉書の書き方、入学願書の書き方など、生活に関連するページが多く、書に関する周辺知識が増える。 委　員－東書は、各単元に「書写のかぎ」があり、文字を正しく書くためのポイントがわかりやすい。基本的な事項をしっかりと押さえている。 委　員－教出は、穴埋めで学習内容の確認ができる欄がある。筆脈を意識して書くことが強調されており、数字、矢印、点線などで筆脈の動きがわかりやすい。 委　員－教出は、筆の穂先と腹で異なる色によって書かれている写真を用いて、視覚的にわかりやすい。 議　長－それでは、これまでの意見、協議をもとに順位を付けたいと思う。 議　長 ・各委員の意見から考えると、学校とは一致しないところもあるが、 ・東京書籍を第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・光村図書を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・教育出版を第３案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－東京書籍」、「第２案－光村図書」、「第３案－教育出版」を書写の教科用図書採択案とする。 【休憩】１０－５５～１１－０５

	事務局－調査結果資料に基づき、**社会（地理的分野）**について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－質問・意見等の前に、地理・歴史・公民の学習で教科書が異なってしまった場合、学校としての意見はどうか。 調査員－３校に聞いてみた。同じ教科書会社の方が教えやすい、生徒も学びやすいだろうとのことだった。学ぶ生徒にとっても教える教師にとっても、同じ発行社の方が、構成の仕方、問題解決の流れ、表記の仕方などが統一され使いやすい。 議　長－この報告はあくまで参考としてほしい。では、質問・意見等あるか。 議　長－中学校現場の意見はどうか。 調査員－東書は、図や資料が豊富でわかりやすく、生徒の関心を引きやすい。 教出は、基本と発展が区別されている。 帝国の地図の資料は充実している。 委　員－地理で順位を決めて、歴史や公民がそれに縛られてしまう懸念がある。 議　長－第七採択地区での協議もある、３種全部の教科書を出していない出版社もある。地理・歴史・公民のそれぞれで順位を決定すべきである。 委　員－東書は、問題解決的な流れがよくできている。「まとめの活動」のページ等に思考ツールがあり、生徒自身が学んだことを振り返ることができる。 委　員－教出は、「世界と日本の在り方」を考えさせている。帝国の資料はよい。 委　員－教出は、「まなびリンク」があり、単元の学びがさらに深まるようになっている。また、「地理の学習を始めるにあたって」のページに、小学校での学習の流れや中学校での学習の流れがあり、見通しを持って学ぶことができる。 委　員－帝国は、諸地域の単元では、「序説」があり、単元の全体像を見通すこと

	ができる。 委　員－帝国は、着目する地球的課題が、課題とともに併記されており、本時の課題と地球的課題との関連を考えることができる。 議　長－東書は、学習課題の設定、調査、まとめ……などが問題解決的になっている。地域の学び方もよくできている。「社会的な見方・考え方」を働かせて学び、そしてその見方・考え方をさらに高めることが子供に伝わる内容と思われる。 帝国は、地理的見方や考え方を働かせる内容になっている。 教出は、学習課題が紙面上、やや目立たない感じがする。 議　長－それでは、これまでの意見、協議をもとに順位を付けたいと思う。 議　長 ・東京書籍を第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・教育出版を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・帝国書院を第３案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－東京書籍」、「第２案－教育出版」、「第３案－帝国書院」を地理的分野の教科用図書採択案とする。 事務局－調査結果資料に基づき、**社会（歴史的分野）**について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－では、学校からの推薦の様子を含め、具体的に説明をお願いする。

	調査員－東書は、思考ツールが掲載されており、単元を通して学んできた歴史的事象を振り返ることができる。 教出は、小学校での学習の流れや中学校での学習の流れが示されており、見通しを持って学ぶことができる。 帝国は、学習最後の「振り返ろう」において、時代の特色を捉えるとともに、前時代と比較する学習がある。 委　員－教出は、章のタイトルが個性的である。 議　長－学習終了後に、まとめとして、そのタイトルにあるようなことを子供に言わせたい。学習する前からタイトルで教え込んでしまうのは主体的な学びにならない。 議　長－東書は、学び方もしっかりしていて、資料も豊富である。問題解決的な展開で主体的･探究的な学習が展開できる。学びを大切にした教科書である。また、歴史的な見方・考え方を促す活動が豊富である。時間認識を育てる工夫もされている。 委　員－帝国は、戦後の日本の歴史の記述に詳しさを感じる。また、問題解決的な展開で、主体的な学習が展開できるようになっている。右ページは端に年表があり、時代認識につながるように配慮されている。 委　員－東書は、歴史の流れが分かりやすく、年表の読み取り方や新聞のまとめ方等の技能を学べる。 委　員－育鵬社は、「このころ世界は」や「歴史のターニングポイント」、「なでしこ日本史」などの多くの資料がある。 委　員－東書は、「基礎・基本のまとめ」や「まとめの活動」のページに、思考ツールがあり、学んできた内容を振り返ることができる。 委　員－東書は、課題解決学習を進めるための「スキルアップ」が随所にあり、年表の読み取り方や新聞のまとめ方等を学ぶことができる。

	委　員－学び舎は、読み物資料としては、充実しており、興味をひく内容である。 委　員－山川は、単元や見開き１ページごとに、その単元で学ぶ基礎的・基本的な用語や難解な用語の解説がある。内容や覚える知識が多いのではないか。 議　長－それでは、これまでの意見、協議をもとに順位を付けたいと思う。 議　長 ・各委員の意見をもとに、学校の意見も参考にして、 ・東京書籍を第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・教育出版を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・帝国書院を第３案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－東京書籍」、「第２案－教育出版」、「第３案－帝国書院」を歴史的分野の教科用図書採択案とする。 事務局－調査結果資料に基づき、**社会（公民的分野）**について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－では、学校からの推薦の様子を含め、具体的に説明をお願いする。 調査員－東書は、疑問や問題から学習が始められており、資料も豊富である。対話的授業も実施しやすい。 教出は、写真や資料が充実しているが、やや情報過多である。 帝国は、単元の初めの予習的な学習があるなどの、指摘があった。 委　員－東書の教科書のつくりはとてもよい。憲法の学習について帝国書院はよく

	できているが、教育出版はやや弱い感じがする。 教出は全般的にまとめ方がうまい。 帝国の図表資料はわかりやすい。 委　員－教出は、「みんなで描く持続可能な未来予想図」があり、社会参画を意識できる。単元の導入として「章のはじめに」があり、単元全体を見通して、主体的に学習できる。 議　長－東書は、問題解決的なつくりがよくできていて、導入・展開・まとめと見通しをもって､課題解決学習に主体的に学習に取り組める。また、この展開は、地理、歴史、公民で一貫している。 委　員－帝国は、「自分の考えを整理する、意見交換を通して考えを深める、課題の答えを自分で考える」という学習がある。思考力等の育成を図れるのではないか。 委　員－育鵬社は、導入で扱う「章の入り口」では、「どうして学ぶのか」、「なぜ学ぶのか」があり、興味を高められる。 委　員－自由社は、教科書の最後に「アクティブに深めよう（７テーマ)」という特設ページがあり、歴史的な背景や社会の仕組みについて考えられる。 委　員－教出は、学習に関連する項目として、「小学校」、「歴史」、「ＳＤＧｓ」が示されており、連動して学ぶことができる。 議　長－東書は、身近な話題から現代社会の見方・考え方を活用して考察する場面を示し、小集団の対話的・協働的なグループ活動ができるよう設定されている。 議　長－それでは、これまでの意見、協議をもとに順位を付けたいと思う。 議　長 ・各委員の意見をもとに、学校の意見も参考にして、

	・東京書籍を第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・帝国書院を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・教育出版を第３案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－東京書籍」、「第２案－帝国書院」、「第３案－教育出版」を公民的分野の教科用図書採択案とする。 事務局－調査結果資料に基づき、地図について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－中学校現場の意見はどうか。 調査員－帝国は、知識・技能の習得に効果的である。見開きページは調べ学習がしやすいという指摘があった。諸資料は、自然、気候、人口などに区分されており、設定した課題に適した資料から考察できる。 東書は、諸地域の学習において、主題を設けて学習することができる。ＳＤＧｓのページがあり、地球的課題を意識して取り組める。 委　員－帝国は色合いがよい。図表もわかりやすい。さらに、地図と防災の記録が明確化されており、情報量が整理され、他分野でも活用できるように工夫されている。 委　員－帝国は、見やすい。子供にとって見やすさは大事だと思う。 委　員－帝国は、見出しや縮尺とともに、バーコードが掲載されており、ＰＣ端末で読み取ると、学習を深める資料等を見ることができる。 議　長－帝国は、多様な地図が掲載されており、広い視野から日本と世界の地域的

	な特色を考察させ、課題解決学習を主体的に学習することができる。 委　員－帝国は、縦長の分だけ見やすい。 議　長－帝国は、A4 版で大判のよさが発揮され、広域、全体の中で調べたい部分が調べられる。大きい部分に他の資料が入ったりして、内容を豊かにし、分かりやすくしている。また、地理、歴史、公民の各分野の教科書と地図を一緒にする必要性は感じなかった。 委　員－東書は、ＳＤＧｓのページがあり、地球的課題を考えて取り組める。 議　長－東書は、世界や日本の地域の地図に、鳥瞰図や自然環境の地図、雨温図や土地利用の様子の地図などが掲載され、多面的に諸地域を学習することができるように工夫されている。 委　員－東書は、「基本資料」や「テーマ資料」が設けられ、世界や日本の調べ学習等において、主体的に学べる。 議　長－それでは、これまでの意見、協議をもとに順位を付けたいと思う。 議長 ・各委員の意見をもとに、学校の意見も参考にして、 ・帝国書院を第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・東京書籍を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－帝国書院」、「第２案－東京書籍」、を地図の教科用図書採択案とする。 事務局－調査結果資料に基づき、数学について内容説明（調査員）

	議　長－質問・意見等があるか。 議　長－中学校現場の意見はどうか。 調査員－割れていた。東京書籍の推薦がやや多い状況だった。 議　長－東書は、問題解決の過程が明確で、身近な生活の事象から学習に入っている。「数学の問題発見・解決の過程」を重視し、生徒が問題解決の進め方を意識しながら、主体的に取り組めるようになっている。 委　員－東書は、つまずきやすい子供にも配慮がみられる。 教出は、学習の振り返りがしやすい配慮がある。数学的な考え方も取り入れられている。また、各ページ右側５分の１の側注欄に効果的にコメントが示されて、理解を補助している。 学図は、付録のホワイトボードが活用できて、切り取れるようにもなっている。導入部分は子供にとってつまずきやすい感じがする。 委　員－学図は、全てではないが章のはじめには「ふりかえり」がある。 また、課題のイメージがわくように、具体的な写真や図などが多くある。 議　長－大日本は、教科書に、子供の思考の流れが準備されてしまっている。既習事項の取扱いについて、「ちょっと確認」という形で小学校の学習の振り返りがしやすく、難易度のバランスに配慮がある。 委　員－教出は、学習に関係する作業をすることによって興味関心を喚起するようにしている。 議　長－教出は、「数学の問題発見・解決の過程」の重視し、生徒が問題解決の進め方を意識しながら、主体的に取り組めるようになっている。また、巻頭に「数学的な考え方」がまとめられており、いつでも振り返って実践できるよう配慮されている。また、余白にも随所に数学的な考え方が示されている。

	議　長－それでは、これまでの意見、協議をもとに順位を付けたいと思う。 議　長 ・各委員の意見をもとに、学校の意見も参考にして、 ・教育出版を第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・東京書籍を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・学校図書を第３案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－教育出版」、「第２案－東京書籍」、「第３案－学校図書」を数学の教科用図書採択案とする。 事務局－調査結果資料に基づき、理科について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－では、学校からの推薦の様子を含め、具体的に説明をお願いする。 調査員－教出は、課題が明確で、問題解決的な学習になっている。 大日本は既習事項や他教科との関連が充実している。また、実験から探求の活動はどの教科書も生かされている。 東書は巻末にペーパークラフトがついており立体的に事象を理解できる。 議　長－具体的な推薦はあるか 調査員－第１に教出で、つまずきを補い、丁寧な学習を組んでいる。第２に東書で問題発見学習を大切にしている。目的意識を持たせて学習させている。 第３は大日本か。

	議　長－皆さんから何かあるか。 委　員－東書は縦長だが、使いづらくないのか。 調査員－そうでもない。使っていくうちに、その良さも分かってくるだろう。 委　員－東書は問題解決的な学習を促しているので、３位までに残したい。 議　長－東書は、各学習が、提示された疑問に対して仮説を立て、検証方法の構想を練り、観察・実験で確かめ、結果の整理と考察を進めることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力、学ぶ意欲が高まるよう構成されている。 委　員－啓林館は、巻末に各学年に４枚ずつ探究シートが付録としてついている。探究の過程のエッセンスが紹介されている。 委　員－大日本は、学習の難度が高いものもあり、既習内容がある程度定着している必要がある。 委　員－学図は、読んでいてわくわく感がなかった。 議　長－同感である。文字が小さいし、見づらい。３位からは外してよいか。 委　員－教出は、観察や実験の前にミニ観察・実験があり、スモールステップで理解できる。また、手順を示す写真等も豊富である。 議　長－差がないので、今までの議論で大日本を３案にする。 議　長－教出は、探究的な活動の流れ、見やすさ、安全への配慮もよい。課題と結論が示されていて、問題解決的な学習になっている。つまずきを補い、丁寧な学習ができるよう課題が設定されている。 議長 ・各委員の意見をもとに、学校の意見も参考にして、 ・教育出版を第１案としてよろしいか。 （承認を得る）

	・東京書籍を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・大日本図書を第３案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－教育出版」、「第２案－東京書籍」、「第３案－大日本図書」を理科の教科用図書採択案とする。 【休憩】１２－００～１３－００ 事務局－調査結果資料に基づき、美術について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－では、学校からの推薦の様子を含め、具体的に説明をお願いする。 調査員－３校とも推薦がばらばらで、順位付けが非常に難しい。調査結果を見ると、開隆堂は、生徒の関心を引き出すよう工夫されており、デザインも現代的なものになっている。 日文は生徒の活動の写真がわかりやすく、さらに生徒の作品をたくさん取り入れている。 光村は、３年間の学習を通じて、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成できる。 議　長－皆さんから何かあるか。 委　員－日文は、過去、現在、未来でとらえている。 委　員－日文は、作者の年齢が比較的若く、デザイン等が新しいものが多い。導入や作品解説、作者のコメントから、造形的な視点が理解できるよう工夫されている。また、４枚分全面を使用した絵の迫力があり印象的できれい。

	色彩も美しく輝きを感じることができる。 委　員－日文は、絵の具を塗る質感もよく出ている。 委　員－日文は、育成したい資質や能力が３つの目標として明確に示されており、学びに向かう力を育成できる。進路指導・キャリア教育にも生かせるページがある。 議　長－日文は、目標の３観点が示されている。また、子供の活動の様子の写真が、分かりやすい。これまでの意見から、日文を１案として次をどこにするか。 委　員－光村は、多様な作品例をもとに、「鑑賞」や「表現」コーナーで生徒が自ら発想や構想を生かせるよう視点を投げかけ、表現方法の工夫や創造性、豊かな感性を養うようにしている。 議　長－開隆堂は、目標や学習のポイント、学び方がよく示されている。光村はやや淡白であるが、大きく迫力があり色彩も豊かな作品も掲載している。 委　員－開隆堂は、３年間の学習で幅広い活動を通して見方・考え方を働かせ、美術を通して生活や社会との関連が見え、美術文化と関わる資質・能力を育成するような構成となっている。 議　長 ・各委員の意見をもとに、学校の意見も参考にして、 ・日本文教出版を第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・開隆堂を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・光村図書を第３案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－日本文教出版」「第２案－開隆堂」、「第３案－光村図書」を美術の教科用図書採択案とする。

	事務局－調査結果資料に基づき、保健体育について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－では、学校からの推薦の様子を含め、具体的に説明をお願いする。 調査員－第１案は各校で割れており、３社が推薦されている。 議　長－全体的には大修館が多く推薦されている。課題をつかむことから始まり、次に技能習得になり、そのあとにまとめという構成になっている。資料も豊富である。大日本もわかりやすい構成である。 委　員－保健体育の学ぶ順番は関係あるのか。 調査員－関係ない。 委　員－大修館には、さいたま市のＡＳＵＫＡモデルが入っている。また、運動やスポーツには多様な関わり方や楽しみ方があることが記載され、興味・関心、能力に応じて運動やスポーツが楽しめるよう工夫されている。 委　員－ストレスを増大させる「心のくせ」が載っていたのは大修館。そこがひかれた。気分転換の内容はどこも載せている。 調査員－知識と技能は今まで別だったが、今度から学んだものを生かす観点から一緒になった。それが良いのが大修館。学研は文字が少なく、資料が豊富。 議　長－大日本は、心肺蘇生法の流れがよくわかる。また、教科書の流れが問題解決型になっている。東書は問題解決的な紙面構成になっているが、一方で問いかけがやたらと多い。 学研は構成がちぐはぐになっている。大修館は１時間の授業も問題解決的な展開になっている。その中で保健体育の見方や考え方を養うように配慮されている。 調査員－学研は目移りしてまとめづらい。

	委　員－大日本は生活の活動も運動と捉えているし、運動しすぎの悪影響にも触れている。 委　員－大修館は、１時間の学びを３ステップで構成し、確実に知識を習得できるよう工夫されている。問題形式もあり生徒の興味が導かれる工夫がなされている。 委　員－東書は、コンテンツが５０個用意され、通信費は有料ではあるが、より深まる資料が活用できるようになっている。 議　長 ・各委員の意見をもとに、学校の意見も参考にして、 ・大修館を第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・大日本図書を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・東京書籍を第３案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－大修館」、「第２案－大日本図書」、「第３案－東京書籍」を保健体育の教科用図書採択案とする。 事務局－調査結果資料に基づき、**技術・家庭（技術分野）**について内容説明（調査員） 議長－質問・意見等があるか。 議　長－では、学校からの推薦の様子を含め、具体的に説明をお願いする。 調査員－開隆堂を１案に推す学校が２校、続いて東書となっている。この２つは、

	課題意識を明確に打ち出していて、学習の目的をはっきりさせている。 開隆堂は、身近な課題設定をしてから、設計、製作、評価・改善するようになっているので、製作に必然性を持たせている。 東書は、身の回りの課題を発見し、その課題を解決するために何をどうするか、という流れに沿って展開しているため、日常生活により密着した内容になっている。 議　長－質問、意見はあるか。 委　員－開隆堂は、見やすい構成になっている。豆知識も有効に配置され、説明が理解しやすい。プログラミングが勉強になった。 委　員－開隆堂は、身近な事柄から課題を設定し、設計、製作、評価・改善する構成になっている。技術への関心や課題意識をもてるよう工夫されている。 委　員－開隆堂は、トマトの栽培など、分かりやすい。 委　員－教図は、基礎技能の習得時に、手軽に持ち運べるよう別冊「技術ハンドブック」にまとめている。 議　長－教図のハンドブックは使いやすいものなのか。 委　員－実際に作業を行うときは、ハンドブックだけではなく教科書も持っていくので、かえって邪魔になるのではないか。 委　員－開隆堂は、ＱＲコードによる動画や資料など、学習や体験に利用できる資料がふんだんにあり、写真やイラストで分かりやすく説明している。 委　員－開隆堂は、「技術・技能の基礎・基本」、「問題発見、計画立案、活動の評価・改善」、「技術の評価・活用」のまとまりで構成される。技術を学習する前のガイダンスに５項目を設定している。 議　長－東書は、開隆堂に準じて作成しているように思える。また、プログラミング手帳が切り取れるように工夫されているし、章を通して問題解決の展開となっている。開隆堂が一番使いやすいと思われる。

	教図は安全指導が一番多い。 議　長 ・各委員の意見をもとに、学校の意見も参考にして、 ・開隆堂を第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・東京書籍を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・教育図書を第３案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－開隆堂」、「第２案－東京書籍」、「第３案－教育図書」を技術・家庭（技術分野）の教科用図書採択案とする。 事務局－調査結果資料に基づき、**技術・家庭（家庭分野）**について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－では、学校からの推薦の様子を含め、具体的に説明をお願いする。 調査員－第１案は開隆堂が２校ある。第２案はすべて東書になっている。技術科と同様に、目的意識をしっかりと持たせているのが特徴である。 開隆堂は、調理実習例は最も多くの参考例を挙げている。伝統文化に関する資料や、防災に関する資料も巻末にページを割いて掲載している。 東書は、「せいかつメモ」を下段に用いて、学習を深めさせ、課題を考える上で参考になる資料が掲載されている。 議　長－質問、意見はあるか。 委　員－単元のつながりは開隆堂が良い。また、家庭や家族の在り方が押しつける

閉　　会	感がなくてよい。 委　員－開隆堂は、調理実習例は最も多くの参考例を挙げている。調理を比べてみると、横書きで見やすい。また、幼児の発達段階の写真が多くあり、幼児との触れ合いがなくてもイメージしやすい。 議　長－開隆堂は、最初の図の捉え方もよいのではないか。 委　員－開隆堂は、実践するための知識・技能が豊富である。「調理方法Ｑ＆Ａ」や「製作の基礎・基本」を掲載する等、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がなされている。 議　長－調理を比べてみると、横書きで見やすいのが開隆堂と東書。特に東書は見開き２ページを使って実習を紹介しているのでわかりやすい。 教図は課題解決学習の流れが示され、１２か所に示されている。 委　員－開隆堂は、見出しに、関連する内容の写真やマークなどを示している。「参考」「探究」「豆知識」などのマークでポイントを示している。字も大きく行間も取ってあるため、見やすくなっている。 委　員－東書は、伝統文化についても、その大切さを実感させる内容が学べるようになっている。和食や地域の食材も紹介している。 委　員－東書は、「せいかつメモ」を下段に用いて、学習を深めさせ、課題を考える資料を掲載している。調理や衣服の実践例も豊富に掲載されている。 委　員－教図は、ＱＲコードが数多く設定され、教科書で学んだことを動画で復習あるいは確認することができる。 委　員－教図は、学習内容のふり返りの問題を行った後、「先輩に聞こう」があり学習内容に深化を図っている。ＳＤＧｓの記載はないようだ。 議　長 ・各委員の意見をもとに、学校の意見も参考にして、

	・開隆堂を第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・東京書籍を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・教育図書を第３案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－開隆堂」、「第２案－東京書籍」、「第３案－教育図書」を技術・家庭（家庭分野）の教科用図書採択案とする。 【休憩】１４－４５～１４－５５ 事務局－調査結果資料に基づき、外国語（英語）について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－では、学校からの推薦の様子を含め、具体的に説明をお願いする。 調査員－三省堂を１案にする学校が多くなっている。三省堂は、スモールステップを踏んで理解するよう工夫され、単元ごとに聞く、話すがあり、イラストも親しみやすくなっている。また、付録も充実し、ＳＤＧｓも扱われ、ＱＲコードが音声との組み合わせになっていて、文法がまとまっていて学びやすいという評価がある。 ２案は開隆堂が多い。開隆堂は小・中の継続性を重視したものである。また、単元構成で文法がまとめられており、分かりやすくなっている。 第３案は東書である。コンパクトにまとめられ、文法も教師が教えやすくなっている。学び方コーナーは自主学習に生かすことができる。 議　長－昨年度、第７採択地で一番難儀だったのが外国語。小・中の継続性を勘案

	して開隆堂になった。この点はどうなのか。 調査員－現場の声では小・中で教科書の出版会社が違っても問題ないと言っている。また、各社とも小・中のつながりに配慮している。 議　長－三省堂、開隆堂、東書と現場の声ではなっているが。 調査員－三省堂と開隆堂の差はほとんどないと言っている。 議　長－開隆堂を挙げていないところの理由はあるか。 調査員－三省堂が特によかったということである。 議　長－開隆堂と三省堂は、学習の展開がパターン化していて進めやすい。また、問題解決の流れができている。三省堂のほうがパターン化はやや多い。 委　員－三省堂は、挿絵・図表・写真は、生徒の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いものや、作品を活かし、生徒の想像力を高めるイメージ豊かなものが掲載されている。ＱＲコードもある。 委　員－開隆堂は、小学校の復習のページが確保されていて、小学校との接続を意識した構成となっている。 委　員－三省堂は、各単元は、基礎の習得から各領域の活動を通して活用する力を身に付ける構成になっている。単元の既習事項を活用し、５領域を統合した活動を通して、思考力、判断力、表現力を高める構成になっている。 調査員－東書は文法のまとめが見やすいという話がある。 議　長－東書は、表記が小さくて見づらい。情報量が多いのかもしれない。三省堂、開隆堂はすっきりしていて見やすい。三省堂は付録も充実している。 委　員－三省堂は、場面設定を明確にした言語活動と、次のページの「文法のまとめ」における新出文法との関連付けがされている。 議　長 ・各委員の意見をもとに、学校の意見も参考にして、 ・三省堂を第１案としてよろしいか。

	（承認を得る） ・開隆堂を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・東京書籍を第３案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－三省堂」、「第２案－開隆堂」、「第３案－東京書籍」を外国語（英語）の教科用図書採択案とする。 事務局－調査結果資料に基づき、道徳について内容説明（調査員） 議　長－質問・意見等があるか。 議　長－では、学校からの推薦の様子を含め、具体的に説明をお願いする。 調査員－２校が学研を第１案にしている。学研は、「深めよう」で問題解決的な話合いや役割演技などが示されている。１校が日科である。こちらは、考えるポイントが示され、教師がアレンジしやすくなっている。 東書は、課題が明確で取り組みやすくなっている。また話し合うとき、設問が絞られていて、時間を有効に使えるよう配慮されている。あかつきは興味を持ちやすいテーマが多く、道徳ノートを併用して考える手立てになるよう工夫されている。 議　長－担当としてはどうか。 調査員－小学校との連携上、学研がよいと思われる。主体的に考え、考えを深められるよう工夫されているのがポイントである。 議　長－前回、「考え、議論する道徳を大切にしましょう」ということで進めてきた。今までは資料から主人公の心情を追いかけて終わっていた。道徳的な心情を培い、実践力を育むまでいかなかった。そういう意味からも、「問

	いをたくさん出しているものは避けたい。子供とともに議論できるようなものを選びたい」となっていた。 前回は東書が１位、学研が２位で、採択は学研だった。 議　長－日科が２位になっているが、いかがか。資料で心情を追いかけている。新学習指導要領に即していないのではないか。 委　員－ワンパターン化しているようだ。 委　員－広がりが感じられない。 議　長－外してよいか。 委　員－よい。 議　長－あかつきも問いが多い。誘導しすぎている。ノートに振り返りを書くが、１行だけでも文で書きたいものだ。 議　長－学研はすっきりしている。資料とテーマの双方について考えるようになっている。前回Ａ４版であまり効果のない余白を感じたが、今回はすっきりした。特に、資料の後の考えようでは、資料の内容に関することと道徳の内容項目に関することが載っている。これは、教師と生徒による「生徒の主体的な授業」の展開を行いやすい。 委　員－学研は、「命の教育」を重点テーマとし、「生命の尊重」と「いじめ防止」に関する題材を三つのテーマで取り扱っている。また、異なる視点を提示して、多面的・多角的に考えられるようにしている。 委　員－学研は、現代的な課題等、資料が幅広く、学習内容に関する写真や資料、発問など、生徒がより深く考えられるように工夫がなされている。 議　長－東書は前回１位だった。学研と同様に東書もよい。 議　長－現在の社会は、いじめや命について問われている。議会でも質問があった。これについてはどの教科書も入れているようだ。 議　長－光村のほうが細かく問いを出している。町の方針では３案は教出。

	学研と東書は大体似ている。 委　員－小・中の連携から、また、自ら考えるという観点からも学研が良いのではないか。東書も同じようだが、連携を考えると学研になる。 議　長－「考え議論する道徳を目指そう」といってきた。心情を追っていく問いが多く、学習者が教科書の内容を目で追っていくようなものは避けたい。 議　長 ・各委員の意見をもとに、学校の意見も参考にして、 ・学研みらいを第１案としてよろしいか。 （承認を得る） ・東京書籍を第２案としてよろしいか。 （承認を得る） ・教育出版を第３案としてよろしいか。 （承認を得る） ・それでは、確認ですが、伊奈町としては、「第１案－学研みらい」、「第２案－東京書籍」、「第３案－教育出版」を道徳の教科用図書採択案とする。 議長 ・以上で、審議を終了する。 ・今後の情報開示について確認をお願いする。 事務局 ・情報開示については、伊奈町ＨＰで公開する。 ・【伊奈町】における協議会については、本会議事録、採択結果及び採択理由を公開する。 ・【第七採択地区協議会】については、「調査員の報告」「協議」は公開とするが、

	「選定」は非公開とする。 ・採択結果や採択理由、議事録は、採択後（９月以降）に公開する予定である。 議長 ・以上で、教科用図書採択に係る臨時教育委員会を終了する。 午後４時１５分閉会

会議録署名委員指名の件	議長は次の者を会議録署名委員に指名し、 全員にこれに同意する。　　５番　田井　文子　委員

上記、会議顛末の相違なきことを証するため署名する。

令和２年７月１５日

議長、教育長

署 名　委 員

書　　記